

塩野絵美、蔵本葵選手が合宿で競い、蔵本選手念願の優勝



合宿練習中の塩野、蔵本両選手＝左が見事インカレ優勝した蔵本選手

塩野絵美選手（30）、後輩チームメートの蔵本葵選手（22）は早稲田大4年11月東京ベルディ・トライアスロンセクションチームの選手だが、今年も8月中旬から約3週間、東川合宿に来町しました。猛暑日が続いていた本州の暑さから解放され「涼しくて最高」とベストな調整が出来たよう。蔵本選手は合宿直後にのぞんだ日本学生トライアスロン選手権大会（9月12日、香川県観音寺市）は通称インカレで見事優勝！学生最大の目標で念願を果たしました。

イアンマンレース世界選手権大会（今年10月9日、米国ハワイ州コナ）が大目標。「昨年より好成绩の15位以内」のゴールが目標ということですが（昨年は自己最高18位）。1日200キロもの距離をこなすバイク（自転車）練習では、北は下川町、南は富良野市内まで高低差豊かなコースを走り抜け、道北地方の道路事情にまずいぶん詳しくなりました。「大雪山忠別湖トライアスロンinひがしかわ」大会の女性の部で2連覇優勝した沢田愛里選手（30）はJR北海道11、チーム後輩の播田実友香選手（24）も加わって充実した合宿になったようです。

新米「東川米」キャンペーン、今年も大好評



今年も大好評！新米キャンペーン（道の駅・道草館前）

新米の「ほしのゆめ」をいち早くお届けする今年の「新米キャンペーン」が9月11日から4日間行われました。今年の出来秋は、夏の好天続きで最高ランクのおいしい新米になりました。今年の予約申し込み量は、837件、約23トン。昨年より102件、約1トンも多い予約を受け付けました。事前予約のキャンペーン方式に変わって2年目。町内4カ所の新米交換所

では、発売を待ちわびていた人たちが初日どっと押し寄せました。中には予約販売だけであることを知らず「この場で買えないの？」と残念そうな観光客の方も。購入者の方は、1人で10キロ入り袋を10袋以上買う方もいて、相変わらずの人気。その場で本州方面などに発送依頼する姿も多く見かけられました。

秋の収穫まつり、今年も盛況

9月4、5の両日、キトウシ森林公園で第49回くらし楽しくフェスティバルが開かれました。秋の会場は恒例のフリーマーケットに加えて、出来秋の農作物をずらりとそろえた収穫感謝祭。2日間のうち、2日目はあいにくの雨天で人が途絶えましたが、初日は快晴に恵まれ大にぎわい。掘り出し物を見つけようと、

旭川市内や近隣の町から大勢の家族連れが詰め掛けました。秋のフェスティバル会場で、一番の人気はトウモロコシ、じゃが芋、たまねぎ、かぼちゃなどの農家直売コーナー。どこも瞬間に売り切れる人気ぶりでした。浜直送の海の幸コーナーも大人気。ホタテ浜焼きの香ばしい匂いに誘われ



JICA医療ボランティアスタッフ



南町3、本江涼子さん（36）がJICA（独）国際協力機構の新規派遣ボランティアとして2年間、ベトナムの病院に派遣されることになり、9月17日松岡市郎町長に出発あいさつに訪れました。

東京都内の病院で14年間看護師として勤めました。大規模病院の手術室専門でしたが、将来世界を舞台に医療ボランティアスタッフとして活動することを目標に、規模の小さな病院での経験も積んだそうです。その後語学力とコミュニケーション能力を高めるため、1カ月間でピレネー山脈越えのフランス・スペイン・サンティアゴ間約800キロを単独徒歩制覇するという練習もして帰国しました。「将来は『国境のない医師団』で活躍したい」と話し、今回のベトナム行きはその第一歩と話していました。

ひがしかわの里で敬老会

敬老の日になんで、町内各地で敬老会が開かれ、長寿をお祝いました。老人保健施設「ひがまの里」（本村勝昭施設長）では9月19日、1日早い敬老会を開きました。昨年は新型インフルエンザ流行で敬老会を中止したので、2年ぶりの開催です。ヘルパー3級講座を勉強しているうちに福祉に興味を持ったという東川高校の1年生5人、昨年7月から福

秋の味覚「一番舞う」イベント開催の波

8月29日、東川町農協で「第8回大雪清流でっぺんまつり」が開かれました。初秋恒例の農業収穫感謝祭。会場はあふれるほどの人出でにぎわいました。昨年から同時開催の「上川まるしえ」コーナーは、愛別町が新たに出席参加して特産品のこ、きのこ汁を産直販売。美瑛町からはカレーうどん研究会のカレーうどん、東神楽町は米粉うどんの直売コーナーが目見えました。「上川まるしえ」へのJAひがしかわの今年の提案は、安心、安全な「ひがしかわサラダ」です。

がしかわサラダ「ブランドの野菜。トマト、ピーマン、サンチュ、ほうれん草など11種類のとれたて新鮮野菜を直売しました。1回100円で10キロ、5キロの東川米が当たる東川米くじ引きも大好評。約2時間で完売しました。農協女性部の「かあちゃん食堂」青年部の「男のぶっつけそば」コーナー、旭川グランドホテル出張レストランなど、会場内の飲食コーナーはどれも大入り満員でにぎわいました。

施設への慰問活動をしているというピッコロの会コーラス（伴美由紀代表の4人が訪れました。入所しているお年よりの最高齢は98歳の女性。園内3カ所のホールに分かれてピッコロの会の演奏に聞き入り、美しいバイオリンの調べに「ああ、素晴らしい。良い音だねえ」とうっとり。同園職員の見守り、ひげダンスに大笑いしたり、家族と一緒にオードブル料理、ちらしずしを満喫しました。

